



## 2025年巳年 白金小150周年 お祝いの年が幕を開けました！

校長 高山 直也

2025年 令和7年の幕開けです。今年の干支は「巳(へび)」です。「成長」や「変革」の年。脱皮していくへびは、古いものを脱ぎ捨て新しく光り輝いていくことからそう言われています。私が暮らしたメキシコでは、ククルカンという羽を持つへびの神様が、春分・秋分の日にはピラミッドに降臨する現象(光と影の見え方)がありました。日本でも特に白へび伝説はたくさんあり、神社に神様として祀られていることで知られています。巳年は新しい歴史の始まり…とも言えるかもしれません。



そのまさに新たな歴史を刻むのが、この白金小学校です。令和7年度、白金小学校は150周年を迎えるため、全校が祝賀ムードに包まれます。正確には開校記念日は1月15日ですから、もう1年先なのですが、4月令和7年度の初めから、行事や活動に「150周年記念」という冠文字がつき、11月15日(土)には150周年記念式典および祝賀会が開催されます。ですからお祝いの機運は、今年からどんどん高まっています。



白金小学校は、1876年明治9年1月15日に荏原郡白金村に43坪の家を借用して公立小学白金学校として開校しました。30名の児童数でスタートした白金小、今では761名の児童数を誇り、発展を続けています。成長・発展の年、しかもラッキー令和7(セブン)年。まさに運氣も急上昇していく中での祝いです。子供たちも保護者の皆様も、数多くいらっしゃる卒業生や関係者の皆様、そして我々教職員皆で、この年に集うご縁を大切に価値ある1年にしていきたいと思います。

子供たちと共に成長・発展を続ける白金小学校を、今年も何とぞよろしく願いいたします。

### 褒めるより 認めて励ます自分で

主任養護教諭 大久保 美保

保健室によく来室する児童の中に、特定の教科の時に身体症状を訴えて来室する児童がいます。出来ないことや、苦手なことから逃れたくて頭痛や腹痛を訴えてきます。出来ないことに取り組むことが嫌になるだけでなく、周りに出来ないことを知られたくない場合もあるようです。「良い子でいたい」「出来る子として見られたい」という気持ちが、このような身体症状を引き起こしてしまいます。

「結果がよくなければ認めてもらえない」「出来なかつたら褒めてもらえない」という不安がやる気を失わせてしまうことがあります。最近は、物を買ってあげるから頑張れという傾向のご家庭も多いように思います。物欲しさに頑張るとか、褒められるために頑張るというのではなく、自分のために頑張ることの大切さを学んでほしいと思います。頑張った結果なら、自信をもって堂々と胸を張って欲しい。養護教諭として、出来ないことも含めて児童を受け止め、認め、励まし続けていきたいと思っています。